

令和5年度 公募研究助成の審査結果について

日本透析医会では、公益事業の一環として、適正な人工透析療法の普及、技術の向上及び腎不全医療（特に透析医療）を推進するための学術研究に対し、助成を実施しております。

令和5年度の公募研究助成については、多数の応募をいただき、厳正、慎重に審査を行い、理事会の承認を経て、以下の8課題に対し総額18,694,000円を助成することといたしました。

1. 空間トランスクリプトーム解析による後天性嚢胞腎随伴腎細胞癌における腫瘍エコシステムおよび発癌機序の解明
2,000,000円
東京女子医科大学 泌尿器科 石原 弘喜
2. 透析患者の血清石灰化傾向推算式策定の試み
720,000円
大阪公立大学大学院医学研究科 血管病態制御学 庄司 哲雄
3. 腹膜透析におけるMMP-10とp38 MAPKのクロストークに着目した新規治療戦略の開発
3,000,000円
京都大学 腎臓内科 横井 秀基
4. 光学センサを用いたポンプ流量推定法の開発と新しい抜針検知法の性能評価
2,074,000円
川崎医療福祉大学 医療技術学部臨床工学科 小野 淳一
5. 抗炎症薬がCKD関連合併症を多面的に改善する機序の解明
2,000,000円
九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科 山田 俊輔
6. 新規リン利尿薬創生の分子基盤の構築
2,900,000円
大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 井上 和則
7. 透析腎癌の血清バイオマーカーの確立を目指す多施設共同研究
3,000,000円
筑波大学医学医療系 川西 邦夫
8. 透析患者におけるRSV肺炎の発生動向とRSVワクチンに対する抗原特異的免疫応答
～全自動遺伝子解析装置FilmArray®を用いた流行状況調査と、免疫老化との関連から考えるワクチンの免疫学的有効性～
3,000,000円
慶應義塾大学医学部 感染症学
吉藤 歩